

矢野 颯子 主演



●スーパー・ドキュメンタリー・フィルム

SUPER FOLK SONG

ピアノが愛した女。

[2017 デジタル・リマスター版]

インタビュー出演

鈴木慶一

谷川俊太郎

糸井重里

三浦光紀

宮沢和史

David Rubinson

(出演順)

監督 坂西伊作

撮影 夏野大介

録音 舟橋和之/森 英司

編集 平田孝聡/中溝哲生/井村文字/長谷清美

撮影アシスタント 角井孝博

セカンド撮影アシスタント 田口貴彦/加藤洋子

助監督 滝本登雄

テレシネ 鶴岡悦郎

MA 番匠康雄

レコーディングエンジニア 吉野金次

アシスタントエンジニア 佐藤晴彦/中島秀一

モニターエンジニア 新居章夫/石黒昭

ピアノチューニング 小林祿幸

ステージマネージャー 笹川寛光/小俣佳久

A&R 名村 武

アーティストマネージメント 永田 純

制作 (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント

*上記は、全て92年製作当時のクレジットになります。

企画・主催 | ソニー・ミュージックアーティストズ

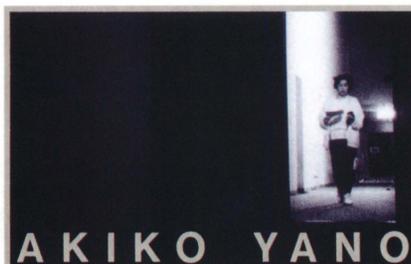
サウンド・アドバイザー | 吉野金次/篠崎恵子

宣伝 | スキップ

協力 | IMAGICA / スピドスターレコーズ / Sony Music Labels

配給 | ライフ・ビューイング・ジャパン

配給協力 | ソニー・ミュージックダイレクト



this
winter
roadshow

カバー・アルバムの名盤『SUPER FOLK SONG』

ピアノと唄だけの“一発録”レコーディング

極度に緊迫した空間で矢野顕子の一挙手一投足を余すことなく捉えた音楽史に残る伝説のドキュメンタリー・フィルム。

現代技術でレストア&リマスタリングされ四半世紀の時を経て、期間限定劇場上映

'76年7月25日、アルバム『JAPANESE GIRL』でソロデビュー。オリジナル・アルバムを含め数々の作品を世に放ちソロワークは勿論のこと、様々なミュージシャンとのセッションも含め長きに渡りライブ活動を行う。そして今年ソロデビュー40周年のアニバーサリー・イヤーを迎えた。その矢野顕子ソロデビュー40周年を記念して、'92年に公開されたドキュメンタリー・フィルム『SUPER FOLK SONG ～ピアノが愛した女。～』をこの冬、期間限定復活上映することになった。名カバー・アルバムのひとつ『SUPER FOLK SONG』は、矢野顕子のピアノ弾き語りシリーズの第一弾(92年作品)として津田ホールと松本市のザ・ハーモニーホールにて、編集なしの「一発録」を行った。その模様を記録した故坂西伊作監督によるドキュメンタリー・フィルム『SUPER FOLK SONG ～ピアノが愛した女。～』が同時に制作された。神聖とされてきたレコーディング・スタジオに、部外者である撮影クルーが踏み入れることは正しく掟破りなのだが、監督の熱心な気持ちと情熱によりアルバム・レコーディング風景の完全密着収録が実現。緊迫した空気の中、何度も失敗しては弾き直す極限状態でのレコーディングに、自分に厳しく挑む姿や納得したテイクを録り終えての安堵感や達成感からくる満身の笑みなど、一心不乱にレコーディングに没頭する矢野顕子の一挙手一投足

を捉えた日本音楽史に残る伝説的な映像となっている。79分の映画のために回されたフィルムは、50巻つまり20万フィート、92時間分(16ミリで撮影)と確認作業だけでも気が遠くなる様な膨大な素材と格闘し、途方もない作業を経て完成した。そこには、アナログテープで収録する現代ではみられない作業風景などその時代を感じさせる貴重なシーンも記録されている。'92年9月2日より全国18都市22館にて上映され、レイトショー動員記録を塗り替え、約2万人の方が来場した。

ソロデビューから40周年。一聴すれば矢野顕子が浮かぶ個性的な歌声と自由奔放なピアノで奏でる楽曲は、唯一無二の存在として音楽界で不動の地位を確立。また国内外問わず数々のミュージシャンズ・ミュージシャンからの敬愛を受け、そして共演者は演歌やテクノなど音楽の振れ幅がとてつもなく広い稀有なミュージシャンとして長きに渡り活動をしてきた。そんな世界的音楽活動は、音楽以外の各界も含め、数多くの著名人にも愛され、そして影響を与えてきた。

劇場上映から約四半世紀を経て、現代の上映スペックに合わせ高画質・高音質で再生。技術の粋を集めたレストア処理で新たに生まれ変わったデジタル・リマスター版で、楽曲が誕生する瞬間の息吹や鼓動を感じ取ってほしい。



- SUPER FOLK SONG (糸井重里のカバー | 作詞:糸井重里 作曲:矢野顕子)
- 横顔 (大貫妙子のカバー | 作詞・作曲:大貫妙子)
- 夏が終る (小室等のカバー | 作詞:谷川俊太郎 作曲:小室等)
- それだけでうれしい (THE BOOMとの矢野の共同名義による曲のカバー | 作詞:矢野顕子 作曲:宮沢和史)
- 塀の上で (はちみつばいのカバー | 作詞・作曲:鈴木慶一)
- 中央線 (THE BOOMのカバー | 作詞・作曲:宮沢和史)
- PRAYER (オリジナル | 作詞:矢野顕子 作曲:Pat Metheny)

矢野顕子 プロフィール

世界的ミュージシャンであり2児の母親である矢野顕子。

中学卒業後、青森より単身上京。高校の時からジャズバーで演奏を始め、その類稀な才能が認められ、数々のレコーディングに参加。76年にはソロデビュー。YMOでの活動など、世界を飛び回り、90年から音楽の拠点をNYへ。独特な歌声と天才的な演奏は唯一無二の個性として、オリジナル・アルバムを含め数々の作品を世に放ち、ソロワークは勿論のこと、今もなお多岐に渡るセッションと世界中のミュージシャンから愛される稀有な存在として活躍。そして2016年、ソロデビュー40周年の記念の年を迎え、11月30日にはオール・タイム・ベストアルバム『矢野山脈』発売、恒例のTIN PAN(細野晴臣/林立夫/鈴木茂)との「さとがえるコンサート」で12月に全国5都市をツアーするなど精力的に活動をおこなっている。



アルバム『SUPER FOLK SONG』

あがた森魚、山下達郎、佐野元春、大貫妙子等のカバーを中心とした、ピアノ弾き語りアルバムの第一弾。矢野顕子の世界が広がるカバーを超えたカバー集。映画『SUPER FOLK SONG～ピアノが愛した女。～』の楽曲を収録。[92年作品] 2013年最新リマスタリング音源。

映画『SUPER FOLK SONG ～ピアノが愛した女。～』[2017デジタル・リマスター版]

1992年/日本/モノクロ/2ch/DCP/79分/スタンダード

新宿バルト9ほか全国の劇場にてこの冬、2週間限定ロードショー

[全国共通劇場鑑賞券] 9/2(金)より全国の劇場、メイジャーWEB通販、チケットぴあ(セブン・イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあのお店)ほかにて販売。

[価格] 前売券 | 1,900円(税込) ※劇場窓口、メイジャーWEB販売では前売特典付 当日窓口料金 | 2,300円均一(税込) ※各種割引なし 前売特典は、数に限りがございます。無くなり次第終了とさせていただきます。チケットぴあ Pコード:466-900

東 新宿バルト9
京 03(5369)4955

大 梅田ブルク7
阪 06(4795)7602

愛 センチュリーシネマ
知 052(264)8580

福 T・ジョイ博多
岡 092(413)5333

北 ユナイテッドシネマ札幌
海 道 0570(78)3011